

1 桜の森の満開の下

©TOHO CO., LTD

監督=篠田正浩 | 原作=坂口安吾



1975(S50)・芸苑社・カラー・1時間35分・脚本=富岡多恵子、篠田正浩・撮影=鈴木達夫・音楽=武満徹・美術=朝倉撰、内藤昭
出演=若山富三郎、岩下志麻、伊佐山ひろ子、西村晃、笑福亭仁鶴、観世栄夫

◆野獣のような山賊(若山)は、都から来た美女(岩下)の虜となり、女の言い付けて生首集めを始めるが一。耽美な怪奇幻想の映像美は圧巻。

4 銀河鉄道の夜

©KADOKAWA1985

監督=杉井ギサブロー | 原作=宮沢賢治



1985(S60)・朝日新聞社=テレビ朝日=日本ヘラルド映画グループ・カラー・1時間47分・原案=ますむらひろし・脚本=別役実・作画=江口モリエ、猿山二郎・撮影=小山信夫・音楽=細野晴臣・声の出演=田中真弓、坂本千夏、堀絢子、常田富士男、大塚周夫

◆孤独な少年・ジョバンニが、親友・カムパネルラと銀河鉄道で旅をする、美しくも残酷なファンタジー。幻想的な世界を彩る細野晴臣の音楽も感動的。

7 黒蜥蜴

©1968松竹

監督=深作欣二 | 原作=江戸川乱歩



1968(S43)・松竹・カラー・1時間27分・戯曲=三島由紀夫・脚本=成澤昌茂、深作欣二・撮影=堂脇博・音楽=富田勲・美術=森田郷平
出演=丸山(美輪)明宏、木村功、川津祐介、松岡きっこ、西村晃、三島由紀夫、丹波哲郎

◆三島の戯曲版を名脚本家・成澤昌茂が脚色し映画化。舞台版でも主演した丸山(美輪)が女賊・黒蜥蜴に扮した華やかでカルト色の強い人気作。

10さらば箱舟

©1984劇団ひまわり/テラヤマワールド/東宝

ガブリエル・ガルシア=マルケス
監督=寺山修司 | 原作=「百年の孤独」※クレジットなし



1982(S57)・劇団ひまわり=人力飛行機舎=ATG・カラー・2時間7分・台本=寺山修司、岸田理生・撮影=鈴木達夫・音楽=J.A.シーザー・美術=池谷仙克
出演=山崎努、小川真由美、原田芳雄、新高い子、高橋洋子、高橋ひとみ、石橋蓮司、若松武

◆世界的ベストセラーを劇作家の岸田と共同脚色し映画化した寺山の遺作。架空の村を舞台にした一大叙事詩。原作者の要望で原作クレジットはない。

2 青春の殺人者

©1976東宝
監督=長谷川和彦 | 原作=中上健次「蛇淫」



1976(S51)・今村プロ・総映社=ATG・カラー・1時間56分・脚本=田村孟・撮影=鈴木達夫・音楽=ゴダイゴ・美術=木村威夫
出演=水谷豊、原田美枝子、内田良平、市原悦子、江藤潤、桃井かおり、地井武男

◆千葉県で実際に起きた親殺しの事件をモチーフとした原作を、大島渚作品などで知られる田村孟がシリオにした、長谷川和彦の衝撃的デビュー作。

5 点と線

©東映

監督=小林恒夫 | 原作=松本清張



1958(S33)・東映東京・カラー・1時間25分・脚色=井手雅人・撮影=藤井静・音楽=木下忠司・美術=田辺達
出演=南廣、山形勲、高峰三枝子、加藤嘉、志村喬、堀雄二、河野秋武、三島雅夫

◆福岡の海岸で発見された男女の情死体。捜査に乗り出した二人の刑事は、ある汚職事件との関連を疑う。旅行雑誌に連載された人気作の映画化。

8 人間失格

©2010「人間失格」製作委員会

監督=荒戸源次郎 | 原作=太宰治



2009(H21)・「人間失格」製作委員会・カラー・2時間14分・脚本=浦沢義雄、鈴木棟也・撮影=浜田毅・音楽=中島ノブユキ・美術=今村力
出演=生田斗真、伊勢谷友介、寺島しのぶ、石原さとみ、森田剛、大楠道代、三田佳子

◆いつの時代も若者たちに支持される太宰の代表作で、太宰生誕100年記念の映画化。何不自由なく育った青年の孤独と堕落を描いた青春文学の金字塔。

11 死の棘

©1990松竹

監督・脚本=小栗康平 | 原作=島尾敏雄



1990(H2)・松竹=松竹第一興行・カラー・1時間58分・撮影=安藤庄平・音楽=細川俊夫・美術=横尾嘉良
出演=松坂慶子、岸部一徳、松村武典、木内みどり、山内明、平田満

◆夫の不倫を糾弾した妻は精神を病み、夫婦の関係は極限状態に陥る。カンヌ国際映画祭審査員グランプリ受賞。演技賞を絶頂の主演二人の名演は必見。

3 Lie lie Lie

©1976東映・ポニーキャニオン・博報堂

監督=中原俊 | 原作=中島らも「永遠も半ばを過ぎて」



1997(H9)・東映・ポニーキャニオン・博報堂・カラー・2時間3分・脚本=伊丹あき、猿渡學・撮影=藤澤順一・音楽=吉俣良・美術=稻垣尚夫
出演=佐藤浩市、豊川悦司、鈴木保奈美、中村梅雀、河合みわこ、本田博太郎

◆「幽霊が書いた小説」を出版しようと不眠症の写植技師と三流詐欺師は策を講じるが。難解かつ奇想天外な「らもワールド」を見事に映像化した人気作。

6 とむらい師たち

©KADOKAWA1968

監督=三隅研次 | 原作=野坂昭如



1968(S43)・大映京都・カラー・1時間29分・脚本=藤本義一・撮影=宮川一夫・音楽=鎧木創・美術=内藤昭
出演=勝新太郎、藤村有弘、藤岡琢也、財津一郎、西岡慶子、酒井修、伊藤雄之助

◆万博前夜の大坂で、デスマスク屋や闇医者らが立ち上げた奇抜な葬儀屋・通称“国葬”が巻き起こす葬式革命!度肝を抜くラストにも乞うご期待。

9 獄門島

©1977東宝

監督=市川崑 | 原作=横溝正史



1977(S52)・東宝・カラー・2時間21分・脚本=久里子亭・撮影=長谷川清・音楽=田辺信一・美術=村木忍
出演=石坂浩二、司葉子、大原麗子、草笛光子、太地喜和子、加藤武、佐分利信

◆原作と犯人が違うことでも話題になった石坂“金田一”的3作目。瀬戸内海の孤島で起こる猟奇殺人の謎に名探偵が挑む。大原麗子の可憐さも忘れ難い。

12 紫式部 源氏物語

©KADOKAWA1987

監督=杉井ギサブロー | 原作=紫式部



1987(S62)・朝日新聞社=テレビ朝日=日本ヘラルド映画グループ・カラー・1時間50分・脚本=筒井ともみ・撮影=杉村重郎・キャラクター原案=林静一・作画=名倉靖博・音楽=細野晴臣・美術=馬郡美保子・声の出演=風間杜夫、梶三和子、風吹ジュン、萩尾みどり

◆NHK大河ドラマでも話題の日本古典文学を、『銀河鉄道の夜』のスタッフが再集結しアニメ化。平安貴族の耽美な世界を重厚かつ絢爛豪華に描いた名作。

2024年9月21日(土)~10月11日(金)・20日間 ★全て35mmフィルムでの上映となります。

各回完全入替制

土日祝	11:00	13:15	15:30	17:45
平 日	12:00	14:15	16:30 ★夕暮れ割(平日のみ)	19:15
9月21日[土]	1・桜の森の満開の下	2・青春の殺人者	3・Lie lie Lie (15:40)	4・銀河鉄道の夜 (18:10)
9月22日[日]	2・青春の殺人者	1・桜の森の満開の下 (13:20)	4・銀河鉄道の夜	3・Lie lie Lie
9月23日[祝]	4・銀河鉄道の夜	3・Lie lie Lie	1・桜の森の満開の下 (15:50)	2・青春の殺人者 (17:50)
9月24日[火]	3・Lie lie Lie	4・銀河鉄道の夜 (14:30)	2・青春の殺人者 (16:45)	1・桜の森の満開の下
9月25日[水]	1・桜の森の満開の下	2・青春の殺人者	3・Lie lie Lie (16:45)	4・銀河鉄道の夜
9月26日[木]	2・青春の殺人者	1・桜の森の満開の下 (14:30)	4・銀河鉄道の夜	3・Lie lie Lie
9月27日[金]	4・銀河鉄道の夜	3・Lie lie Lie	1・桜の森の満開の下 (16:50)	2・青春の殺人者
9月28日[土]	5・点と線	6・とむらい師たち	7・黒蜥蜴	8・人間失格
9月29日[日]	6・とむらい師たち	5・点と線	8・人間失格	7・黒蜥蜴 (18:10)
9月30日[月]	7・黒蜥蜴	8・人間失格	5・点と線 (17:00)	6・とむらい師たち
10月 1日[火]	8・人間失格	5・点と線 (14:45)	6・とむらい師たち (16:40)	7・黒蜥蜴
10月 2日[水]	6・とむらい師たち	7・黒蜥蜴	8・人間失格	5・点と線
10月 3日[木]	5・点と線	6・とむらい師たち	7・黒蜥蜴	8・人間失格 (19:00)
10月 4日[金]	7・黒蜥蜴	8・人間失格	5・点と線 (17:00)	6・とむらい師たち
10月 5日[土]	9・獄門島	10・さらば箱舟 (13:50)	11・死の棘 (16:30)	12・紫式部 源氏物語 (19:00)
10月 6日[日]	10・さらば箱舟	11・死の棘 (13:35)	12・紫式部 源氏物語 (16:00)	9・獄門島 (18:15)
10月 7日[月]	11・死の棘 (11:30)	12・紫式部 源氏物語 (14:00)	9・獄門島 (16:20)	10・さらば箱舟
10月 8日[火]		< 設備点検のため休館します >		
10月 9日[水]	12・紫式部 源氏物語 (11:30)	9・獄門島 (13:45)	10・さらば箱舟	11・死の棘
10月10日[木]	10・さらば箱舟 (11:30)	11・死の棘	12・紫式部 源氏物語 (16:40)	9・獄門島 (19:00)
10月11日[金]	9・獄門島 (11:30)	10・さらば箱舟	11・死の棘 (16:50)	12・紫式部 源氏物語

★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めお詫び申しあげます。★作品名末尾の()内の数字は上映開始時刻です。()の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。

当日入場料金=一般¥1400/シニア¥1200/学生¥1000

各種割引=水曜サービスデー・夕暮れ割(平日3回目のみ)・誕生日割(要身分証提示)=一般/シニア¥1100

●自由席定員制(99席) ●整理番号制 ●各回完全入替制

●1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日のみ)販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ●開場は各回10分前を予定しております。●開映後の入場不可・混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。●販売後の変更、取り消しはできません。

有料入場5回で
1回無料の、お得な
ポイントカードサービス
実施中!

小学館グループ

神保町シアター

JINBOCHO THEATER

地下鉄神保町駅A7出口3分/JR御茶ノ水駅御茶ノ水橋出口8分

tel.03-5281-5132 http://jinbocho-theater.jp/

